#### ムーンショット型研究開発事業

目標2:2050年までに、超早期に疾患の予測・予防をすることができる社会を実現

令和6年3月23日 公開フォーラム2024~治すから防ぐ医療へ~



# パンデミックの脅威から開放された社会を目指して



大阪大学 感染症総合教育研究拠点 大阪大学 微生物病研究所



松浦善治



# 人類と感染症の歴史

7万年前

数千年前

紀元前6世紀

15~17世紀

18世紀

20世紀初頭

コッホなどによる細菌学の

パスツール 炭疽菌ワクチ

**BCG** 

狂犬病ワクチ:

1950年

黄熱ワクチン

天然痘根絶

### 新興ウイルス感染症に直面

エイズ, SARS, ジカ熱, MERS, 新型コロナ・・・・



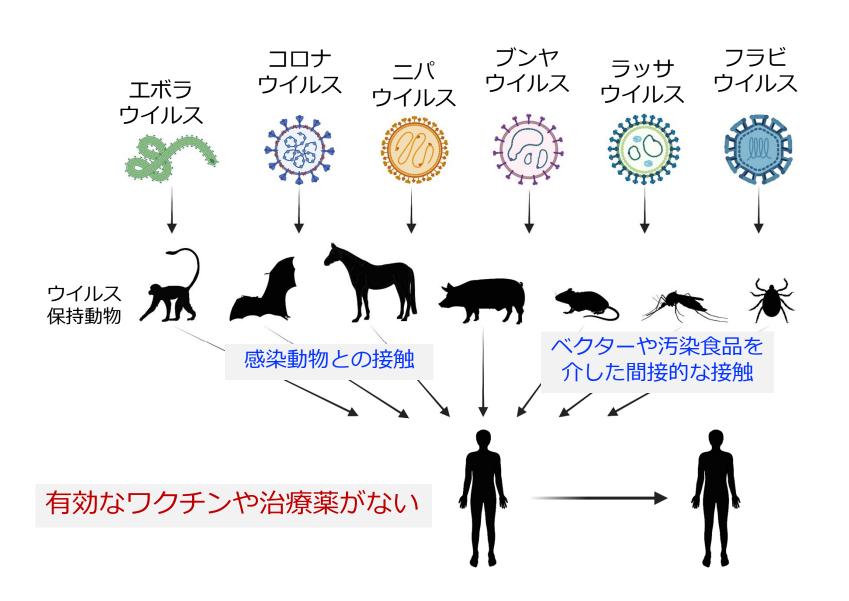




# 人類と感染症の歴史



# 重要感染症はRNAウイルスによる人獣共通感染症である



# 世界の感染症対策





Coalition for Epidemic Preparedness Innovations



国立研究開発法人日本医療研究開発機構



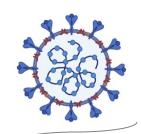
先進的研究開発戦略センター











# ウイルス毎に

ワクチンや治療薬を開発している

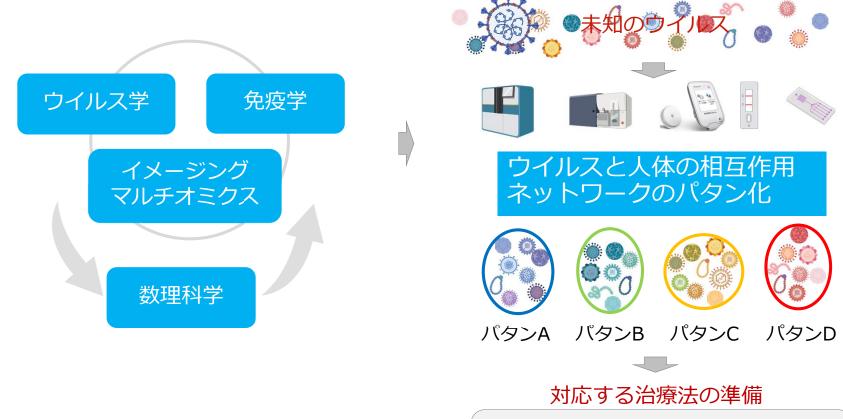




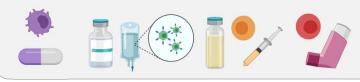
しかしながら・・

ウイルスの出現は予測できない 予防治療法の開発には時間を要する

# ウイルス感染による生体応答でウイルスをパタンに分類する



未知のウイルスに対しても各パタン に応じた超早期の予防治療が可能



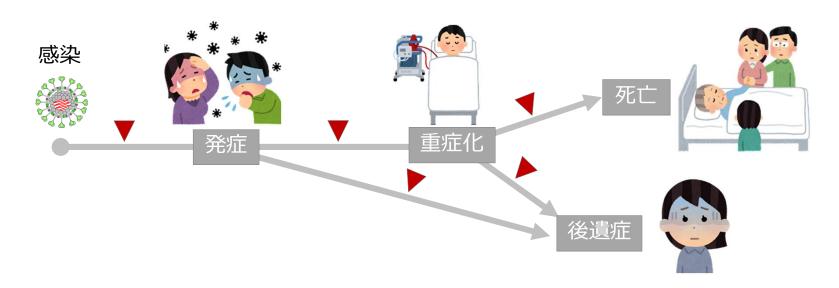
# ウイルス感染症における未病

ウイルス感染症はウイルスの細胞への**侵入**を起点とすることからがん、認知症、糖尿病等とは**未病の概念**が異なる

重症化や死亡といった**急激な 状態変化**が起こる前の状態



この時に適切に**介入**できれば 重篤な変化を未然に防げる



ウイルス感染による宿主応答の包括的解析により未病を理解する

### 相互フィードバック



節足動物媒介ウイルス

臨床データ

### 免疫学的解析

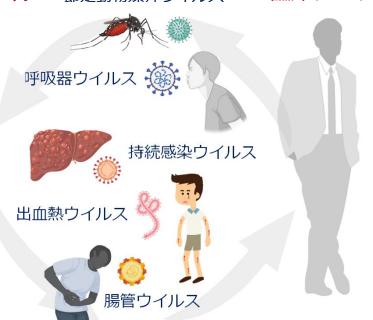
免疫系細胞の変化 腸内細菌の変化

### イメージング解析

宿主応答可視化 技術開発

### 数理解析

データ抽出のため の解析技術開発



ウイルス感染による生体反応の数理モデルを作成

#### ウイルス学

免疫学

九大・澤

阪大・松浦

阪大・小林

# ウイルス感染モデルの作製と免疫学的解析

イメージング マルチオミクス

数理科学

#### ウイルス学

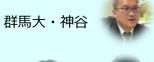




IFV感染モデル

SARS-CoV-2 感染モデル

RSV感染モデル



節足動物媒介ウイルス

WNV, JEV, DENV 感染モデル



RV感染モデル



HAZV, CCFHV 感染モデル

持続感染ウイルス

HCV, HBV 感染モデル

免疫学





CD8T細胞



CD4T細胞



徳島大・安友



阪大・山本



樹状細胞



マクロファージ



千葉大・中島



京大・竹内

#### 支持細胞, 常在細菌叢



ストローマ 細胞



常在細菌





慶應大・長谷



山梨大・森石



ウイルス学

免疫学

# ウイルス感染後の宿主応答や粒子を観察する

#### イメージング マルチオミクス

数理科学

### ウイルス感染動物モデルの観察



東大・岡田康志



理研・岡田峰陽

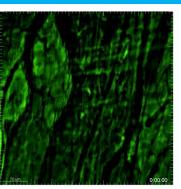


東大・鈴木

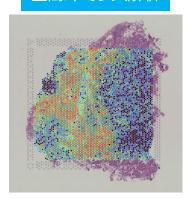
臓器内分布



3次元動態・遺伝子発現



空間オミクス解析



オルガノイド 深部観察

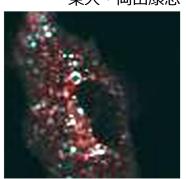


エビデント・阿部

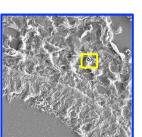
細胞内 動態

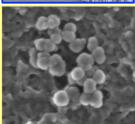


東大・岡田康志











千葉大・池原

ウイルス 直接検出 ウイルス学

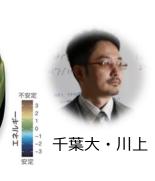
免疫学

# ウイルス感染の重篤な変化の予兆を捉える

イメージング マルチオミクス

数理科学

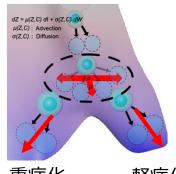
### 状態を見る



### 機械学習



深層学習





重症化

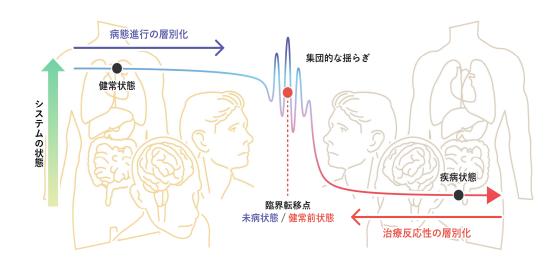
軽症化

ゆらぎを見る

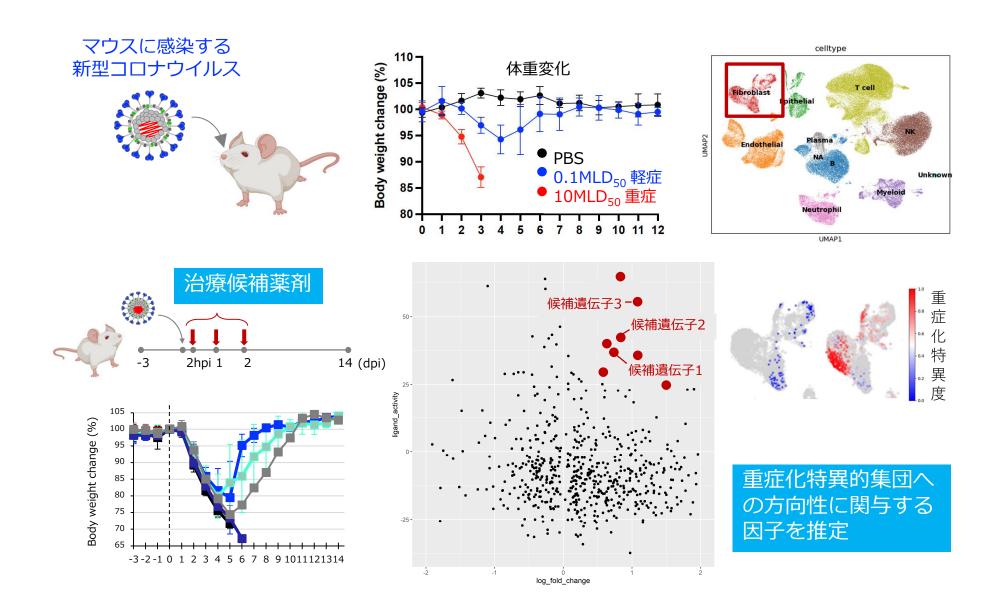
数理モデル



名大・岩見



# 新型コロナウイルスの重症化特異的な細胞を標的とした治療介入



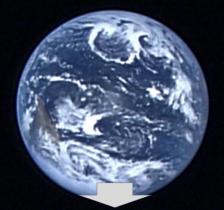








We choose to go to the Moon John F. Kennedy



Moonshot for Human Well-being

人々を魅了する野心的な目標を掲げて、世界中の研 の英知を結集しながら、困難な社会課題の解決 指し、挑戦的な研究開発を進める研究開発制度 2050

JAXA/NHK









ウイルス感染症の予測は困難であり制御法の開発 は後手に回らざるを得ない

2024



ウイルスと人体の相互作用ネットワークのパタン化 各パタンに対応した超早期の診断・治療法の確立 未知のウイルスに対する先制的な制圧法の準備



日々のモニタリングデータに基づいて意識せずに免疫環境を日常的 に自動調整するシステムの開発





2050

新興感染症の脅威からの解放された社会

JAXA/NHK